

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 2月28日

事業所名 特定非営利活動法人チャイルドハウスひなたぼっこ

		チェック項目	はい	いいえ	子どもよいか悪いかわからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	2	子ども達の様子を見て、必要に応じて部屋を使い分けている。活動によっては狭く感じるが工夫している	子どもがのびのびと活動出来るスペースやコロナ感染対策から考えると十分な広さだとは言えないが、3つの部屋を使い分けながら過ごしている
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	1	以前、実地指導において指摘を受けたことを教訓に定数以上の人員にしている	個別サポートが必要なご利用者様が増えたこと、個々に合った支援を行うことがひなたぼっこの目標であるため、日々の活動内容とその日のご利用者様を考えて職員は規定よりは多く配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	5	2	身体障がいのご利用者様を受けないので必要ない	身体障がいのご利用者様を受け入れていないのでバリアフリー化は今のところ必要はない。事業所の設備等は、事故防止委員会等で定期的に点検を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	5	1	ミーティング等で検討事例を挙げ、問題解決に向け、全員で話し合い支援方法を考えている	常に業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)を職員の中に意識づけるために、ミーティングや社内研修等に職員が積極的に参画できるように、組織、場、雰囲気等の環境づくりに努めている。また、利用者に対応する職員が固定化しない様に配慮したい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	4	いろいろな場面で積極的にアンケートを実施し、保護者の意見を聞くようにしている	保護者等向け評価表だけでなく、運営や活動の改善を図るためのアンケート調査を実施して、保護者の意向を把握し、業務改善につなげたり、保護者との信頼関係を築いたりするようにしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		3	保護者には、ご協力の感謝の意を伝える書面と評価結果票を配布し、ホームページでも公開している	公開前にミーティング等で指摘を受けた内容など課題や改善すべき点を職員で話し合い、それらを踏まえた改善内容、改善目標をきめる。その後、自己評価の結果を行政機関に提出、保護者へ配布、ホームページ上で公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	4	第三者による外部評価を昨年度から依頼したが、コロナ禍の影響で当事業所への訪問が減り、実施が困難であった	ご利用者様の個人情報の保護を考えると第三者に入っていたのが難しいですが、支援の研修や保護者との座談会等で関わっている方などに関わっていただき、業務改善に努めたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	1	コロナ感染対策の影響で社外研修が難しいが、希望する職員には研修に行かせている。社内研修は毎月行っている	ご利用者様と日々関わる中での課題や支援にあたっての問題点などを出し合い、随時ミーティングや社内研修等を行っている。今年度は、外部からも講師を招いての研修や座談会を実施。講師の了解を得て、今後も定期的に入れていく予定である
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	4	聞き取りを適宜行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成している	実地指導で指摘があったように、担当者だけが支援計画に携わるのではなく、日頃から子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析できるように、ミーティング等で支援の記録や意見を取り入れながら、全職員が関わって支援計画を作成し、それに伴って担当が放課後等デイサービス計画を作成していくように努める
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	5	子どもの適応行動の状況を把握するために、個々に合ったアセスメントツールを使用している	個別支援に必要な場合、使用している。今後は、個々に合った独自のアセスメントツールを創り、今以上の支援を目指したい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	5	2	活動プログラムの立案をより適切に行えるよう工夫し、チームではないが現場職員が連携して行っている	少人数の事業所なので、チームを作るのは困難だが、日々の活動プログラムやイベント毎に担当を決めて、企画や指示書を出し、連携して行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	2	利用者の特性を考慮して、できるだけプログラムが固定化しない工夫はしている。また、イベント等は公平に参加できるように工夫している	平日活動については、活動時間が短いので固定しがちである。音楽セッションやダンス、創作活動、誕生日会等を取り入れたり、短時間で出来る集団活動も計画に組み込んで行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	4	2	課題の確認や自立に向けての支援の意識を持つことを自覚してサポートに取り組むようにする	平日、休日、長期休業活動それぞれに、集団活動、個別活動別に課題を設定し、個々の成長に合った個別支援や小集団活動の必要性に気づくような支援に努めている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	2	自発管の提示した支援計画をもとにミーティング等で目標の確認、達成度などを再確認して作成に結び付けている	今後は、児発管のみが支援計画を立てるのではなく、ミーティング等で個々の課題などを情報共有しながら子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜見直ししながら放課後等デイサービス支援計画を作成する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3	3	下校時間が様々である為、一斉での打ち合わせが出来ない。支援内容や役割分担、連絡は個々に伝えるようにしている	以前は、支援開始前にミニミーティングを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していたが、利用者の下校時刻が様々な事と、午前中からの利用者があるなど難しい。そのため、リーダーが職員個別に伝えるようにしている。また、支援前には申し送りノート必ず読むことで連絡や支援事項を共有することを徹底している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	5	5	勤務形態が違うので支援後の打ち合わせは難しい。そのため、申し送りノートに記載したり、メモや個人の活動記録に書くことで振り返りを行っている	支援終了後まいる職員とは、その日の活動を振り返り、気づき等を話し合っている。その他職員は、支援開始前に申し送りノートや活動記録を確認して、前日行われた支援の振り返りを行い、検討事項や課題等を共有するようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	その日の支援担当になった者が必ず正しく記録をとるように徹底している	支援担当者が記録をするが、複数で支援にあたる場合は、分け合って記録をしたり、メモを使って記録をたしりながら、支援の検証・改善につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	4	相談支援専門員と定期的にモニタリングを行っている。それに基づいてのサービス計画の見直しを積極的に行っていく	保護者の要望や相談支援専門員と連携、また職員からの気づき等につかり向き合いながらモニタリングを行い、放課後等デイサービスの支援計画の見直しを繰り返しながら、今後、より一層スムーズに支援が行えるよう環境を整えていくように努める
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	0	7	平日活動は短時間だが基本活動を軸にして個々の実態に合わせた活動を組み合わせている	日常生活や社会生活をすすめる中での自立支援に個々の特性に合わせた創作、音楽、運動などの活動を組み合わせる支援を行うよう計画を立てて実行している。年齢や能力差がある為、それぞれに合う支援や活動をもっと工夫するように努める	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	4	会議の時間にもよるが、より現場の状況がわかる職員が積極的に参加出来る様工夫したい	サービス提供時間に重なって出席が難しいこともあるが、ケース会議、サービス担当者会議等はできるだけ子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画するように努めたい
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	0	1	最近は学校側も予定表等提供があり、必要とするところでのサポートはできている	学校との情報共有(学校での様子、学校行事、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を通じて行っている。共有内容の確認等必要性を感じた時は、相談支援専門員を通して、ケース会議の場を設け、学校と連携し問題解決をしていくようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2	5	医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない	現在は医療的ケアが必要な利用者は受け入れていないが、万が一に備えて協力医療機関にかかりつけ医を設置している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	6	利用契約前に必要とされる場合は、情報共有等の相互理解に努めている	契約時に、相談支援専門員から提供される資料に記載されている支援に必要な情報を確認し、更に必要な支援のために過去に振り返らなければならない場合は、相談支援専門員を通して情報を提供や会議を行うようにしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	7	今のところそういった事はないが、今後ある場合は保護者の承諾の元、情報提供は協力できる	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がある場合は、必要性に応じてそれまでの支援内容等の情報を提供することはできる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6	2	保護者からの依頼で専門機関と連携し、情報共有したり助言を受けたりすることはある	利用者が通っている児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関に保護者からの依頼で情報共有をし、助言を受けることがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	2	必要性を感じない	公立学校は自校の学校生活の中で交流している。いろいろな人達との交流の場が経験出来ればよいと考えるが、放課後児童クラブや児童館との交流については行政の管轄が違ふことと、障がいへの理解がないままの交流は難しく、保護者からも必要性を感じないとの意見が多い
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	6	地域の支援団体、協議会等へ登録している職員は、積極的に参加している	今後は地域の福祉や子育て支援団体、社会協議会等へ登録している職員だけでなく、利用者も含め、事業所として積極的に参加していきたいと考えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	1	迎時に子どもの状況を関わった職員から直接に伝え、保護者との信頼関係を築く努力しながら、共通理解を図っている	保護者には常に寄り添い、日々の活動状況を伝えることで保護者との信頼関係を深めている。子どもの発達の状況や課題について共通理解、情報共有をしながら、保護者とは常に連携をとりながら支援にあたるようにしている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	7	個別に相談時間をとっている。保護者対象の親睦を兼ねた座談会を予定し、講師との質疑応答の時間を持ちながら支援を行っている	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。積極的に参加して下さる保護者にはペアレントメンターの研修会等にも参加していただく機会を呼び掛けている	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	4	契約時に丁寧に説明をしている	事業所の運営規定を丁寧に説明した上で契約書を交わしている。また、重要事項説明書に基づいて契約の内容、利用者負担等の説明を分かり易く行っている。また、運営規定や重要事項説明書においては、改定がある度に説明をして再替えをお願いしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	2	保護者からの要望があれば、個別に相談時間を確保している。お子様の気になる点があれば声掛けしたり、連絡帳で知らせたりしている	保護者からの申し出による子育て等の相談には懇切丁寧に応じている。保護者からの申し出はないが明らかにSOSが出ている事を感じた時は、声をかけて後日じっくり相談に乗っている。日頃、送迎時の保護者とのやり取りの中で保護者の心の変化等も見逃さない努力をしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	7	年2~3回は保護者も一緒に参加できるような親子活動プログラムをくんでいる。また、保護者対象の座談会も行っている	年間計画に親子参加の活動を組み入れている。今年度は、ふれあいの森親子活動、クリスマス会親子活動を計画し、コロナ感染の万全な対策をとって実行し、大変好評だった。保護者同士も親子活動の中でしっかり親睦、連携ができていた
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	3	苦情は入っていない	今年度保護者からの苦情等が入っていないが、入った時には事実を真摯に受け止め納得いく対応に努める。利用時の小さな気づきやご意見については、すぐに保護者や職員に周知し、その都度早急に対処してきています。評価表に書かれているご意見については迅速に対処したり、今後の運営に活かしていきたいよう適切に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	発信している	毎月、活動内容や連絡事項と行事予定及び予約表の配布、活動報告として3ヶ月に1度、ひなたぼっこ便りを発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	4	契約時に個人情報取り扱いに関する契約書を交わし、職員にも個人情報の取り扱いには厳重注意をしている	契約時に、職員には雇用契約時、利用者さんには利用契約時に個人情報使用同意書を交わして、個人情報には十分注意して周知徹底をしている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	3	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	障がいのある子ども達との意思の疎通(個々に応じた方法で)や情報伝達のための工夫や配慮をしながらしっかり関わりが持てるよう努力していきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	5	自治会への参加や、資源回収や自販機の設置等で地域の理解、協力を呼び掛けたりしながら、地域住民との交流を図っている	昨年、5周年記念行事の時に一般公開の日を設定し、地域住民を招待した。資源回収や自動販売機の売上の協力を呼びかけ、いろいろな形で交流により、地域住民の方の温かいご理解とご支援をうけている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	4	4つの委員会に分かれ、各委員会で計画的に話し合いをして、マニュアル作成やマニュアルの見直しをしている	緊急対応、虐待対応、防犯対応、感染症対応、事故防止対応マニュアルを各委員会で話し合い作成、それをミーティング等で報告、検討を繰り返し行っている。保護者には毎月のお知らせでその都度必要な事を知らせている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	3	非常災害の発生に備え、緊急時の児童引き渡しカードの作成、定期的に避難訓練を行う計画を立てている	非常災害の発生に備え、防災訓練(避難経路の確認)を実施した。消防署と連携しての避難訓練も計画していたが、コロナ禍の影響で2度中止になり、3月春休みに再計画を立て消防署へ申請、実施する予定である
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	4	社内では虐待防止委員会を作って、ミーティングや社内研修等で話し合いをしている	定期的に虐待防止委員会を開いて研修している。職員には虐待チェックリストを行い、日頃の支援を振り返る機会をとっている。県の虐待防止研修会に参加した内容を社内研修でしっかり伝達しながら、周知徹底に努めるよう話している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	4	利用契約時に、保護者に身体拘束をさせていただくことがあることを事例を挙げて説明し、了解を得たことを放課後等デイサービス計画の中に組み入れている	利用契約時、保護者の方に身体拘束をさせていただくことを説明、承諾後放課後等デイサービス計画の中に組み入れる。実際に行った場合は、その時の状況、背景等を関わった支援者より保護者にしっかり伝え、納得を得られるよう説明することに努めている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	4	保護者からの食物アレルギーについて対応はしている。現在は医師の指示が必要な子はいない	現在、保護者の方からのアレルギー反応のある食品等については気を付けて対応している。医師の指示書に基づく対応の必要がある利用者は今のところいませんが、必要に応じて職員全員で共有して対処したいと思う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	1	もっと支援に対する意識を高めたい	ヒヤリハットの記録(事故報告書や検討事項事案)はミーティング等で報告し、未然防止のための話し合いを行っている。今後、事例集を作成し、いろいろなパターンを想定して職員が事業所内で共有に努めたい。